

2月3日(水) ハイナイト礼拝メッセージ「共に救われる祝福」

## 1 主が愛するイスラエル

(ローマ9:1-4) "私はキリストにあって真実を語り、偽りを言いません。私の良心も、聖霊によって私に対し証ししていますが、私には大きな悲しみがあり、私の心には絶えず痛みがあります。私は、自分の兄弟たち、肉による自分の同胞のためなら、私自身がキリストから引き離されて、のろわれた者となってもよいとさえ思っています。 彼らはイスラエル人です。子とされることも、栄光も、契約も、律法の授与も、礼拝も、約束も彼らのものです。"

## 2 イスラエルのために祈る祝福

(民数記6:27) 彼らがわたしの名でイスラエル人のために祈るなら、わたしは彼らを祝福しよう(新改訳第3版)

(詩編122:6) エルサレムの平和のために祈れ。「あなたを愛する人々が安らかであるように」

※休息、繁栄、平安、安らぎ

(ローマ11:11-12) それでは尋ねますが、彼らがつまずいたのは倒れるためでしょうか。決してそんなことはありません。かえって、彼らの背きによって、救いが異邦人に及び、イスラエルにねたみを起こさせました。彼らの背きが世界の富となり、彼らの失敗が異邦人の

富となるのなら、彼らがみな救われることは、どんなにすばらしいものをもたらすことでしょう。

【祈り課題】2021年B.F.P.Japanのビジョンを覚えてBFPがイスラエルでの働きを開始して以来、「キリストの似姿を生き、その行動をもって証しする」という使命は変わっていません。今年もその使命を果たし続けることを主は示してくださいました。イエスさまは王としてみなしごややもめ、寄留者や貧しい人々の必要に心を砕かれました。また、預言者として預言の成就を宣言し、やがて起こる預言を通して民にあがないを語られました。さらに大祭司として、神と人との間に立ち、とりなしをしてくださいました。BFPも、物質支援、預言の学びや聖書通読、とりなしの祈りなど各プロジェクトを通じて、イエスさまが果たされたこの役割を果たし続けていきたいと思えます。

- ① 戦争の噂(うわさ)やコロナ禍などいかなる困難にあっても、主から与えられた使命を、BFPファミリーの皆様と共に果たし続けられるように
- ② 世界中のクリスチャン、日本のクリスチャン、21cccの一人おひとりが、キリストの似姿を生き、行動することで、神の国が拡大されていくように
- ③ 神のゴールである主のあがないが、ユダヤ人の上にも我々異邦人の上にも成就するように